



校長室の窓から

《校長だより》

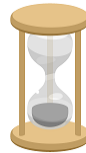
神奈川県立市ケ尾高等学校
校長 増淵 広美
平成 29 年 10 月 20 日
第 26 号

今年度も、いよいよ後半期に入りました！

体育祭、文化祭、修学旅行と大きな学校行事が続いた9月も終え、今年度もすでに半ばを過ぎました。毎年思うことですが、年度後半の時間の流れはとても速く感じられます。2年生にとっては、高校生活の折り返しでもあります。

3年生は、文化祭の代休明けに行われたマーク模試で一気に本格的な受験モードに切り替わり、2年生も、修学旅行から戻ってすぐの10月2日(月)の学年集会での先生方の話に、自分の目指す進路実現に向けていよいよモチベーションが高まったことと思います。2年生の秋から進路実現に向けて高い意識を持って学習に取り組み、盤石の基礎を固めることが後々大きな強みになります。

同じく10月2日(月)の1年生の学年集会では、来年4月から全学年で導入する「市高手帳」(仮称)をより快適にカスタマイズするためのモニター版の手帳が配付されました。併せて、その使い方について丁寧な説明を聴き、時間管理や自己管理の大切さ、ツールとしての手帳の有効性について理解を深めたことと思います。使い慣れるまでには少し時間が必要かもしれませんが、常に手帳を開き、予定や活動の記録、一日の振り返り等を書き入れることを習慣にしてください。新しいことを始めるのは容易なことではないかもしれませんが、そのことに価値を見いだすことができれば、習慣にすることも、より効果的に使うこともできるはずです。



◆◆ 時間をデザインする ～かけがえのない時間を生かす！～

学年が上がるにつれて手帳を使っている人は多くなるとは思いますが、今回の1年生のアンケートでは、手帳を使って提出物やスケジュールの管理をしている人は33人で、全体の1割に満たない人数でした。

「市高手帳」導入のねらいは、「時間管理」(単なるスケジュール管理ではありません)、「日々の学習時間の見える化」、「日々の振り返り」「1年間の活動の記録」のツールとして用いることで、確かな学力の育成や進路実現につなげることにあります。勿論、そこで留まるものではありません。持っている力を発揮し、社会で生き生きと活躍するために必要な、時間管理能力や自己管理能力、メタ認知能力(自分をより高い視点から客観視できる力)等を高校生のうちからしっかりと身につけることを視野に入れています。

内容的には、生徒手帳に収められている内容と時間管理のためのスケジュール帳、さまざまな記録のページ等を1冊にまとめたものです。見開き1ページの1か月や1週間の自分の時間を俯瞰し、自ら意味ある時間をデザインしてください。ここが、単なるスケジュール管理やスマートフォン等での管理と大きく異なるところです。「時間をデザインする」ということは、自分と向き合うことでもあり、皆さんの成長、夢や目標の実現にとってとても大切なことです。

2, 3年生ですでに手帳を使っている人も、そのような明確な意識を持って使うとモチベーションもあがり、より時間を生かすことができるはずです。

時間は、誰にでも平等に与えられていますが、二度と戻ることはありません。そして、その使い方によって大きく「質」が異なってきます。

モニター版の手帳については、2年生の分も確保してあります。来年度の本格導入に向けて、手帳への記載を習慣化し、自分にあったやり方で使いこなせるようになってほしいですね。

1年生の皆さんには、より使いやすい市高オリジナルの手帳を作るために、後日アンケートを行う予定です。是非、率直な意見をお願いします。



吹奏楽部が県大会で「金賞」を受賞！

本校吹奏楽部が、8月12日(土)に川崎市教育文化会館で行われた第66回神奈川県吹奏楽コンクールで見事「金賞」を受賞しました。東関東大会進出校と同点でありながら惜しくも東関東大会への出場は逃しましたが、大きな躍進です。今回はB部門(最大30人)での出場。演奏した曲は「ブルー・シェイズ」(作曲:ティケリ)です。

そこで、今回は、吹奏楽部部長の秋元大地さん(2年生)に今後に向けた抱負などを語ってもらいました。

来年のコンクールは44期生(現1年生)が中心になるので、今回の受賞を糧に、部員一同モチベーションを共有し、より高い水準を目指して練習に励みたいという力強い言葉。今回のコンクールでの大きな課題は、5月の定期演奏会で演奏した曲ではあるけれど、定期演奏会を機に引退した3年生のあとをどう補うかということ。また、曲そのものも、いろいろなパートをパズルのようによくかみ合わせるのがとても難しかったそうです。それらの課題に対し、個々の技量の向上はもとより、皆で曲への理解を深め、力を合わせて練習に取り組んだことが、今回の受賞に結びつきました。部長としては、前部長の後を引き継ぎ、部員を鼓舞できるよう自ら率先垂範に努め、チームワークを大切にしたいという話に、部長としての覚悟を感じます。今回の受賞は、全ての部員と指揮者(顧問)の心が一つに重なり、音が奏でられたことによる賜物だと思います。

吹奏楽部の今後の演奏予定は次のとおりです。

12月20日(水):青葉公会堂
チャリティコンサート(緑法人会主催)

12月25日(月):緑公会堂
クリスマスコンサート

吹奏楽部の演奏で、
心豊かな時間を！



体育祭 ～天気予報の変化に一喜一憂～

文化祭との日程の兼ね合いで、毎年9月1日に予定される本校の体育祭は、ちょうど「二百十日」(立春から数えて210日目。台風が最も多いと言われる。)にあたることもあってか、雨のことが多く、予定どおりに実施できた昨年は、何と5年ぶり。

今年も早い時期から天気予報に一喜一憂。当初の予報では、9月1日(金)も準備にあたる前日もほぼ雨で、実際に前日の8月31日(木)は朝から今にも雨が降り出しそうな空模様。その時点で、「快晴」の予報で実施が確実に見込める9月5日(火)に延期を決定。しかし、快晴のはずだった5日の予報が日に日に雨の確率が高くなり、当日まで、毎日が本当に不安でした。お陰様で、どうか天気を持ち堪え、実施できたことに安堵しています。最近では、あまり外れることのない天気予報ですが、今回ばかりは随分不安定で、ハラハラさせられました。

◆◆ 応援団の練習の声がピタッと合った！

本校の体育祭は、実行委員長を中心にほぼ1年をかけて練り上げ、準備を重ねて当日を迎えます。それを応援団が盛り上げます。今年も、赤、青、黄の3団に分かれての熱い闘いでした。

各団の闘いは開祭式の集合から競われ、どの団も全力疾走で集合。また、競技や応援パフォーマンスだけでなく競技応援でも、見ていて気持ちのよい力いっぱい応援。

午後の部最初の応援団によるパフォーマンスは、毎年多くの注目を集めます。延期されたこともあってか、今年のパフォーマンスは実に完成度が高く、見応えがありました。

昇降口前で練習している応援団の声は校長室にも聞こえてきますが、踊りながらなので、全くのズレもなく、ピタッ！と合わせるのは至難の業。それが、延期になった9月1日の夕方、ある瞬間からピタッと全員の声が揃い、仲間を称え、多くの人たちに感謝する、その言葉がはっきりと聞き取れたとき、何か月もの間、一心に練習に励んでいる姿を見てきただけに、心の底から感動しました。

当日は、どの団も練習の成果を存分に発揮し、甲乙つけがたい素晴らしいパフォーマンスを披露。衣装もそれぞれ個性があり、よく工夫されています。踊り終えた後の輝く笑顔と涙は、まさに青春！市高らしい一コマです。



「応援賞」の黄団パフォーマンス

3人の団長を中心に、結団以来、夏休みも勉強と両立しながら何か月も皆で練習に励んできた団員たちの満足感と達成感は一ひとしおです。



上から、「看板賞」の赤団、続いて、青団、黄団の看板。



青団パフォーマンス



赤団パフォーマンス

◆◆ 最後は大円陣での校歌、そして「市高最高！」

体育祭の最後は毎年恒例の大円陣での校歌。全校生徒1,200人がグラウンドいっぱいに円陣になって肩を組み、歌います。歌い終わると円陣の真ん中にいる3人の団長をめぐって全校生徒が全速力で駆け寄り、声を合わせて市高生の決めの言葉、「市高最高！」。この光景は、何度見ても感動的です。この一体感と感動は、青春の輝く思い出としていつまでも心に残ることでしょう。



校歌を歌い終えるや全員が円陣の真ん中にある3人の団長のもとに駆け寄り、声を合わせて「市高最高！」

◆◆ 赤団強し！断トツの総合優勝

さて、今年の結果は、赤団716点、青団429点、黄団550点。総合優勝、競技優勝ともに赤団でした。

その他の成績は次のとおりです。

応援賞：黄 看板賞：赤 色別対抗リレー：赤
学年種目：1年8組(ロングジャンプ)、2年2組(台風の目)、3年2組(因幡の白兔)

クラス対抗リレー：1年10組、2年9組、3年4組
部活動対抗リレー：(運動部男子)バドミントン部、(運動部女子)ハンドボール部

(盛り上がったで賞)サッカー部
※今年文化祭は、全てパフォーマンスのため順位はありません。

右：「盛り上がったで賞」は、毎年サッカー部(1丁)が工夫を凝らして強い！



文化祭 ～今年もおおよそ6,000人が来場～

今年の文化祭、9月9日(土)、10日(日)は両日ともに晴れ。青空のもと清々しい文化祭を開催することができました。近隣のいくつかの高校の文化祭が重なり、来場者数が気になるころでしたが、お陰様で、例年と変わらず約6,000人の方が来場。



大いに盛り上がった開祭式の締めくくりは、恒例のジェット風船！写真提供：川勾秀彦さん(本校キャリアサポーター)

初日の公開前にポニーの丘で行われた開祭式も、司会の巧みなトークで大いに盛り上がり、体育館・視聴覚団体PRに続いて恒例の色とりどりのジェット風船が、真っ青な大空高く飛んでいく、実に気持ちのよいオープニングでした。



屋根の餃子の質感に注目！(模擬店の市番屋「感謝」)

どの団体の装飾もよく工夫され、デザインだけでなく、質感や細部へのこだわりは、さすが市高生！何事にも全力投球です。完成

までのチームワークと相当な努力が伝わってきます。昨年は、2日目の生憎の雨で、ポニーの丘の模擬店の屋根の装飾を外さなくてはなりませんでしたが、今年は両日ともお天気に恵まれ、最後まで力作の装飾を楽しむことができました。

◆◆ 今年のPTA企画も実に多彩！

(その1)「おやじの会」の名物うどんに新メニュー

今年のおやじの会のうどんはさらにパワーアップ。1日目は、おなじみの「豚汁うどん」。具たくさんで栄養満点。2日目には、何と、今年の新メニュー「チキンカレーうどん」が登場！試作に試作を重ねて完成したレシピ。豚汁うどんのおいしさは皆さんご存じのとおり。しかし、チキンカレーうどんもまた、ひと味違った絶品。両日とも行列のできる大繁盛で、おやじの会のうどんは、まさに本校文化祭の「名物」です。



「おやじの会」のうどん販売を待つ行列。

(その2) P's ティーコーナーはくつろぎの空間

今年度も、休憩コーナー（P's ティーコーナー）では体育祭のDVDを上映。輝く市高生の青春が画面いっぱいにあふれます。テーブルには可憐な花。おにぎりや唐揚げ、飲み物、どら焼きの販売もあり、ホッと一息、くつろぎの空間です。2日目には、恒例のバザーも開催。

(その3) 校長とおしゃべりタイム

今年の新企画。1日目の9月9日（土）、P's ティーコーナーに隣接するスペースで、保護者の皆様と楽しく、充実した対話の時間を共有しました。生徒をはじめ、本校に関わる全ての皆様と大切にしていきたいのが「対話」。この日は、保護者の皆様とざっくばらんにお話ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。当日は20数名の方が参加。自己紹介方々ご家庭での生徒の様子や子育て、学校への質問・要望など、多岐にわたるお話をすることができました。そこでいただいたヒントやご要望は、できるものはすぐに、すぐには難しいものは少しずつ形にしていきたいと考えています。今後とも、本校の教育活動にご理解とご支援をよろしくお願い致します。

◆◆ 今年も地域の公的機関の皆様が参加

今年も昨年に引き続き、横浜市資源循環局青葉事務所と青葉区明るい選挙推進協議会事務局（青葉区選挙管理委員会）の皆様が参加してくださいました。



分別ゲーム、エコバック制作が人気！

今年は一つの会場（教室）の中にそれぞれコーナーを設置。資源循環局青葉事務所のコーナーでは、ごみ分別ゲームや景品付き福引きのほか、今年新たにエコバック制作が加わり、子どもから大人まで大人気。



左：「ヨコハマ3R夢（スリム）！」マスコットの「イーオ」がプリントされたエコバッグ。クレパスで色を塗りアイロンをかければ完成！
右：今年も「えら坊」が「市番星」（各部門優秀企画表彰）をPR。

青葉区選挙管理委員会のコーナーでは、本物の記載台と投票箱を使って「マイ争点選挙」が行われ、来場者が11の政策の中から関心の高い政策に投票。開票結果は、総票数263票。順位は、「年金」が66票（25.1%）で断トツ1位。2位は「子育て・教育」51票（19.4%）、以下、3位「外交・防衛」28票（10.6%）、4位「医療・介護」25票（9.5%）、5位「憲法改正」23票（8.7%）、6位「消費増税」22票（8.4%）は僅差。7位は「原発・エネルギー」「防災対策」が同数の16票（6.1%）、9位「景気対策」6票（2.3%）、10位は「雇用対策」「財政再建」が同数の5票（1.9%）という順でした。

今年も青葉区選挙管理委員会の人気マスコット「えら坊」が本校「市番星」の投票をPR。両コーナーが本校の文化祭に華を添えてくださいました。

◆◆ 後夜祭の多才ぶりにびっくり！そして、花火！

後夜祭では、普段見ることのできない生徒の多才ぶりを見ることができます。1ステージ数分で展開される歌や漫才、コント、ダンスなど、次々に登場する生徒のパフォーマンスに驚きの連続です。中には、始業前に何人かで集まっている姿を見かけていたグループもあり、この日のための練習だったことを合点すると、心に温かなものがこみ上げてきました。



仲間とともに楽しむ花火はまた格別！

今年の「白鷺賞」（体育祭、文化祭の総合最優秀クラス）は2年9組。おめでとうございます。

後夜祭の後は恒例の花火。あっという間に日が暮れ、まさに「秋の日は釣瓶（つるべ）落とし」。予定どおり18時30分に打ち上げ開始。白鷺祭も締めくくりは、いつもの円陣を組んでの校歌と「市高最高！」。まさに「青春」です。



花火の後も肩を組んでの大円陣。校歌の後は、勿論、全員で中心に駆け寄り「市高最高！」
写真提供：上下とも川内秀彦さん

★ 市番星！ （参加団体部門別人気投票） ★★

- 展示実演部門：2年9組
「Don't stop in 9」
（コーヒークップ）
- 模擬店部門：3年8組
「謝謝」（餃子）
- 体育館部門：3年ダンス部
- バンド部門：Vento



これが話題のコーヒークップ。人が乗ってもちゃんと動きまわす。すごい！

陸上部が快挙！ 県新人大会において2種目で入賞

9月24日（日）に行われた陸上の県高校新人大会で、本校陸上部が、女子800mと女子1600mリレー（400m×4）で入賞しました。（敬称略。丸付き数字は学年。）

- 800m：4位（2分16秒21） 橋詰 香弥乃②
- 1600mリレー：6位（3分56秒13）
1走：長土居 理桜② 2走：仲 美紀①
3走：大森 千聖① 4走：橋詰 香弥乃②

